

学習課題(小学校3年生)



【理科】

<学習内容> 「明かりをつけよう」

◆「電気を通すものと通さないもの」(教科書 132～133 ページ) について、取組シートやノートにまとめよう。

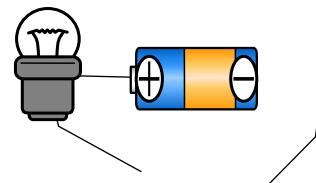
※この学習は、実験をすることで理解がさらに深まります。教科書 127 ページにある豆電球、導線つきソケットは、学校に準備があります。

(1) 教科書 132 ページ「問題をつかもう」を読み、回路のどちゅうに鉄のくぎと木のつまようじをそれぞれつないである写真を見て、気付いたことを、ノートや取組シートに書きましょう。

(2) どんな物が電気を通すのかを考えます。身の回りにあるもので、どんな物が電気を通すのかを予想しましょう。教科書 134、135 ページにある「調べる物のれい」を参考にして考え、教科書 135 ページのような表をノートや取組シートに書きましょう。

調べる物	見通し	けっか
紙	×	
10円玉	○	

(3) 調べるものが、電気を通すかどうかを調べるために、教科書 133 ページのような「電気を通す物発見き」をつくります。



※用具の準備が難しいときは、学校に相談しましょう。

(4) どんな物が電気を通すのか「電気を通す物発見き」を使って調べ、(2)で作った表に結果を記録しましょう。

(5) 実験結果と、教科書 136 ページ「考えよう」「まとめ」を参考に、どんな物が電気を通すといえるか、考えをノートや取組シートに書きましょう。

<保護者による関わり方のポイント> ※可能な範囲でお願いします。

- この学習では、どんな物が電気を通すのか、興味をもって繰り返し調べることを大切にしています。
- (2) では、例えば、「はさみのどの部分が電気を通したの？」などに関わり、道具の名前ではなく、物質に目が向くように声をかけてください。